

は、これの流入量の基本的な数値が達成されなかつたときは、どのように考へてゐるのか？

A町長 基本的には実際に流入した量です。将来に向かつて真鶴町に生まれて育つてくる人たちが苦しい思いをしないようするために、環境の良い町をつくつてあげたいと思つています。これは皆さんと共通の認識を持つていないと決して良い町は出来ません。ですから実際に入れた量または使つた量で処理出来るように努力をして行きたいのが本心です。

イ・ケースで対応していきたいと考えています。困った人の面倒を見られるような、職員の研修体制も考えていきます。

A町長 町村としての収納率は、大きな目安98・5%を考えています。現実は90%を割るようなデータも出てきているようですから、目標値に近い数字を目指して努力していくたいと思います。

Q 町民税の個人が10%以上減っているが今後も続くのか、状況と打開策は?

Q/A機器等の保守管理を発注している業者とは、どのような契約をしているのか？

A課長 町として35歳以上は人間ドックを、その他の職員には町立診療所での受診を補助しています。

況を送信することができない。
町内37か所のデジタル化を推進
できないか?

度から実施しますが、今後の準備河原との広域化の協定の中で陸上災害行政無線のデジタル化を検討していく予定です。町の防災行政無線の放送に内容を精査して放送するよう努めます。2市・町の消防広域化のなかで検討

總務民政常任委員會
經濟文教常任委員會
委員長 二見 和幸

經濟文教常任委員會

稅務部門

會計部門

Q町支払で資金が足りない場合
には、その時の対処は？

Q 収納対策課人員の配置は何人体制で、どのようにするのか？

A 町長 職員の配置は、皆さんの意見を聞きながら考えていいきたいと思います。

町民と町内で利害のない町外から通う、しつかりと滞納の調整ができる職員を配置し滞納者についてもケース・バ

などには入札をして融資をうけることになります。5月に補助金等が入るので、工事等は45日

A町長 各自治会の決算報告と事業活動報告を精査して補助金を算定するわけですが、魅力ある自治会になつてもらうための仕組みづくりと加入促進を図つていくことが必要ではないかと思います。自治会ごとに特化した魅力ある事業を進められるよう、町として援助していく必要があります。

Q 自治会連合会補助金について、自治会の加入率のアップや町の援助をどのように進めていくのか?

しており、他社に保守をまかせられない状況があり随意契約で発注しています。

ができるよう対処指導していくま
す。

か？ ちゃんと引き継ぎがなされている

い職員をつくつていきます。

ことの仕組みと分別を高め化により細かくすることの難しさを広報等で広めていく必要があります。

環境防災部門

A課長 港の整備もありますが、今のところ現状の場所で、し尿処理センターと湯河原町

管理部門

と町の3者で今後も協定を續けていきます。5年償還で更新し